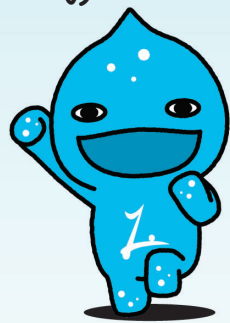


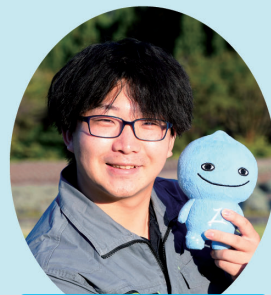
地域おこし協力隊に聞いてみた！

町では、現在2名の地域おこし協力隊が活動しています。これまでの地域おこし協力隊の活動について、また都市圏から美郷町に移った際の生活等についてインタビューしました。



梶原 恵美子 さん

東京から移住。休日の過ごし方は掃除と買い物と軽い運動。



高橋 錬太郎 さん

神奈川から移住。休日の過ごし方は友人との旅行やキャンプ。

Q1:これまでの活動の中で一番思い出深い出来事を教えてください。

梶原(以下梶)・・・令和6年度に実施した「食の交流事業」、美郷雪華を利用したスイーツ開発はとても印象深く、心に残っています。美郷



町の六郷高校と、前職で関わりのあった村川学園東京山手調理師専門学校が、学生がレシピを話し合ったり、相互に刺激を受けている様子を見て、私自身も得られるものがたくさんありました。

——六郷高校の学生たちは、都市圏の学生と交流するきっかけとなつた訳ですが、都市圏の方々と交流事業について梶原さんはどのように考えますか？



梶・・・関係人口の創出に役に立つと思います。今回の事業は学生同士の交流でしたが、六郷高校の学生たちが美郷町で過ごした思い出や成功体験が、その後の進路選択でたとえ県外に出てAターンを考えるきっかけにして欲しいと考えています。また村川学園東京山手調理師専門学校でも美郷雪華スイーツ

を販売して、首都圏のたくさんの方に美郷雪華を知ってもらうことができました。美郷と交流し関わる人が増え、いろいろな場所でも「美郷」を目にすることが移住のきっかけになればいいと思います。

高橋(以下高)・・・私は今年の5月に実施したデイクャンプイベントです。自分で一から企画し、実施したことで思い出に残っています。

アウトドアを通して感じる美郷町の魅力は何だと思いますか？

高・・・気軽に色々な体験ができる「ちようどん良さ」が魅力だと思います。町内のキャンプ場は温泉施設に隣接していますし、車を使えば買い物が簡単にできます。キャンプしやすい環境が整っているだけでなく、夜になれば虫の声や星などの自然を楽しむことができるのも魅力だと思います。



また期間限定のイベントにはなりますが、カヌーや登山、森林スノーシュートレッキングなど、未経験者だけでは難しいアウトドア体験でも、町のネイチャーガイドと一緒に安全に楽しむことができるのは、自然が身近にある美郷町ならではの魅力だと思います。週末に家族

ご家族、友人へぜひご周知ください！

美郷町地域おこし協力隊「ガーデンスタッフ」を募集します

美郷町ラベンダー園の栽培管理業務を担う地域おこし協力隊を2名募集します。地域おこし協力隊は、地域の新たな担い手として都市地域から意欲ある人材を受け入れる制度です。応募条件などの詳細は町ホームページをご覧ください。

■募集内容 ガーデンスタッフ(2名)

■業務概要

- ・ラベンダーの価値向上・PRに関する活動
- ・ラベンダー栽培の技術継承
- ・活動に関する情報発信
- ・その他の活動



■応募期間 第1回:令和7年11月4日(火)～11月28日(金)
第2回:令和7年12月1日(月)～12月26日(金)

※第1回で採用人数を満たした場合は、第2回を実施しない場合があります。

ラベンダー園で働く

秋田県美郷町
地域おこし協力隊募集



でアウトドアを気軽に楽しみたい、アウトドアを始めるきっかけにしたい、という方々には本当に「ちょうど良い」と思います。

Q2: 地域おこし協力隊になる前の経歴ときっかけを教えてください。

梶: 都立高校の教師を三十二年間勤めていました。退職後のライフプランについてしばらく考えていて、最後は故郷で働こうという気持ちが勝ちました。

高: 電気工事の仕事で新築のマンションや工場が私の仕事現場でした。もともと趣味だったアウトドアを地元で仕事としてできるかなと思ったのがきっかけでした。

Q3: 活動をするうえで大変だったことはありますか？

梶: 車の運転です。今でもしゅつう道を間違えます。特に冬道の運転はまだまだ緊張しっぱなしです。

高: イベントを企画立案すること、その後に実現する際の各種調整が大変でした。

Q4: 地域おこし協力隊の魅力はどんなところだと思いますか？

梶: これまでの経験になかった人との出会いと出会いを通して自分自身が変わっていくこと。



高: 自分の好きなことに挑戦できることです！

Q5: 美郷町の好きなところはありますか？

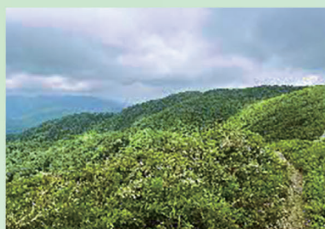
梶: のんびりしているところ。まずだいたい人柄が穏やか。

高: 店が近くにあつて買い物の際など利便性があるのと、静かで治安が良く住みやすくて景観がいいところ。

Q6: 美郷町で好きな場所(スポット)はどこですか？

梶: 関田の円型分水工に感動しました。

高: 真昼岳山頂。景色が最高です。



Q7: 最後にこれからの目標を教えてください！

梶: お試し移住体験で来てくれた方に美郷町産品を活かした体験を提供できるようにしたいです。

高: イベントを開催して若者を美郷町へ呼び込みたいです。

ネイチャーガイドについては、こちらをご覧ください。



地域おこし協力隊通信

Vol.19

美郷町地域おこし協力隊 梶原 美恵子



「車のタイヤ交換もうした？いつする？」といった会話が飛び交う時期になってきました。雪道や凍結路の運転…今年も緊張しています。

さて、私が担っている移住定住促進業務の一部として空き家バンク登録に携わるようになってから、所有する物件のご相談に対応する機会が増えました。また、登録物件の詳しい情報を得るために、利用者登録をする方も増えています。対応を通じて、空き家の利活用が移住定住の意思決定につながることを実感しています。お心当たりのある方は町ホームページのトップページにある「定住空き家情報」をご覧ください、どうぞご利用ください。

他にも、いろいろな形で町を支えている方からお話を伺う機会があります。これまでに会った方々は「観光等の施設運営」「スポーツ、健康づくり推進」「食文化の継承」「起業(準備を含む)」「ラベンダー栽培」「都市農村交流推進」などジャンルも様々です。高校教員から転職し、協力隊になったからこそ出会えた方々からは、仲間と協力して物事に取り組む姿勢を学ぶことができ、今更ながら学生時代に経験する行事や部活など大切だと感じています。これまでの取材活動の一部をInstagramに投稿しています。広報をお読みになっている皆さんを通じて、美郷町に帰ることをお考えの方や、町に興味をお持ちの方等にご紹介いただければありがたいと思います。【空き家バンク問い合わせ先:商工観光交流課 0187-84-4909】



私は今年度の地域おこし協力隊事業で、ラベンダーを食用ハーブとして活用する計画を立てており、勉強のために苗を2株購入し栽培に初挑戦しています。そこで9月18日に、美郷ブランド作物「美郷雪華」(白色ラベンダー)の育成に携わっている方々による挿し木の勉強会に参加しました。この勉強会で初めて知ることが多く、大変有意義な機会でした。株が元気な状態で冬越しできるように、水やりや日照、通風に気を付けて見守っていききたいと思います。



Instagram

問●町商工観光交流課 商工観光交流班 ☎0187(84)4909